

常識の中に答えはない

常識の外側に答えは存在していません。

常識を超えて獨創性を極める必要があります。

出来ないとは不可能を証明できたか。証明が出来ない限り出来るはずです。

心が頭を使います。頭は心の道具ですから、肝心なのは「心」清く暖たかい心です。

生き残るため考え続け、行動し続けることであります。

「新自由主義」は価値の創造や社会の安定に何の価値も見出さない、人の命に寄生（パラサイト）する主張です。

・雇用を不安定にする↓賃金を下げる

・水道事業を乗っ取る↓命を担保にして金を奪う

・医療事業を乗っ取る↓命を担保にして金を奪う

・建設事業を乗っ取る↓命を担保にして金を奪う

（建設業は災害復旧に不可欠ですが、日本の建設業は様々な力で壊滅させられ、東北の復興も出来ない状況です。それもこれも日本国内の建設業を潰し、グローバル企業が参入しやすくなる）

・企業の減税↓代わりに消費税で労働者から金を奪う

労働者の権限の削減↓労働者を弱める（大企業↓消費税輸出還付の補助金税制）

・関税の廃止↓国内企業を潰しグローバル企業が参入しやすくなる

・国内保護の規制の撤廃↓国内企業（農業）を潰しグローバル企業が参入しやすくなるなどです。

とにかくグローバル企業を力に強め、他の力を弱めることに力を集中しています。

外国も自国もなくなつた富を奪うことにのみ特化する理論を実践し、あらゆるも

の破壊して金を奪う。それが「新自由主義」です。「保守」では全くない。

「公的機関が税金で行っている事業を民間で行い、民間が税金を吸い取る」システム、実はTPPでやりた

いことはこれなのです。特に水道・電気・ガス・建設・医療などインフラ関連の事業です。

これらは国の基盤です。その基盤から寄生虫が金を吸いとるため、ペラペラと

もつともらしい詭弁を使います。この新自由主義の旗手が、

マスコミによく出ている慶応大学教授の竹中平蔵で、人材派遣会社のパソナ取締役会長であります。

何が起これば急激に変わります。今日と明日は違うのです。

明日の事は、誰にも分かりません。お偉い人が言っているから、大丈夫ではありません。我々

大衆にとつて殆ど嘘と決め付けて大丈夫です。「騙される人が悪い」のです。

総理がベースアップを財界に、お願いすること自体が内政干渉で実に不自然です。

NHK含め誰も異常と疑わない頭（心）を疑つのです。

当然財界の提灯持ちを信じ

騙される人が悪い

取奪するため、民間会社に派遣制度を持ち込んだリーマンショック後の三年間、民主党政権の日本はまったくの停滞そのものでした。

状況は常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。

状況を常に変化しています。